



ジャーナリズム界のゴッソー(ならず者)として、戦後アメリカの文壇を引っ掻き回し、カウンターカルチャーのアンチヒーローとして生きたドクター、ハンター・S・トンプソン。2005年に自らの命をショットガンで絶つまで、ハンターは伝説的といえるまでにハチヤメチャに生きた。若い頃のフェルトリコでの酒浸りの日々、サンフランシスコのヒッピーカルチャー創草期にはヘルズエンジェルズに加わり、ドクチャン騒ぎの突撃ルポを敢行し、ボコボコにされた命から逃げ出す。ラスヴェガズでは勝手に経費を湯水のように使いながらドラッグを大量に振り騒ぎを起こす。コロラドでは保安官に立候補し、アメリカ大統領選をシカゴに、そして的確にルポする。ハンターはジャーナリズムの基本、客観性を無視し取材対象と私的に関わることで真実を浮き上がらせた。死後発表された写真集「GONZO」には、そんなハンターが近づき、牙をむいた取材対象や時代が鮮やかに写し出されている。ライフルにタイプライター、酒とタバコ、ハレーにまたがるヘルズエンジェルズに裸の女。負けても睡を吐くような、そんなハンターの生きた日常がその写真からまるで彼が書きなぐった文章のように溢れ出てくる。ここに掲載するのはハンターが1979年当時撮ったボラロイド。取材の現場で撮ったものか、はたまた日常のスナップなのか。狂気の瞬間を切り取った世界がそこにはある。来年には熱烈なハンター狂であるジョー・デップがナレーションをつとめたドキュメンタリーも公開される。ハンターの暴走は死して終わりを見せろ、とがない。

HUNTER S. THOMPSON

1937年、ケンタッキー生まれ。高校卒業後に、空軍に入隊。将校用の新聞に記事を書くことで、ジャーナリストとしてのキャリアをスタートさせる。その後空軍を除隊となり、フリーランスとして多くの雑誌に寄稿。65年にヘルズ・エンジェルズを取材し、その記事と破天荒なアティチュードで一躍有名に。その後も型破りなスタイルで執筆を続けるが、2005年にコロラドで銃自殺を遂げる。彼の死後に出版された写真集「GONZO」は、AMMO BOOKSにて購入可能。www.ammobooks.com

HUNTER S. THOMPSON

Journalist, Author_ハンター・S・トンプソン(ジャーナリスト、文筆家)